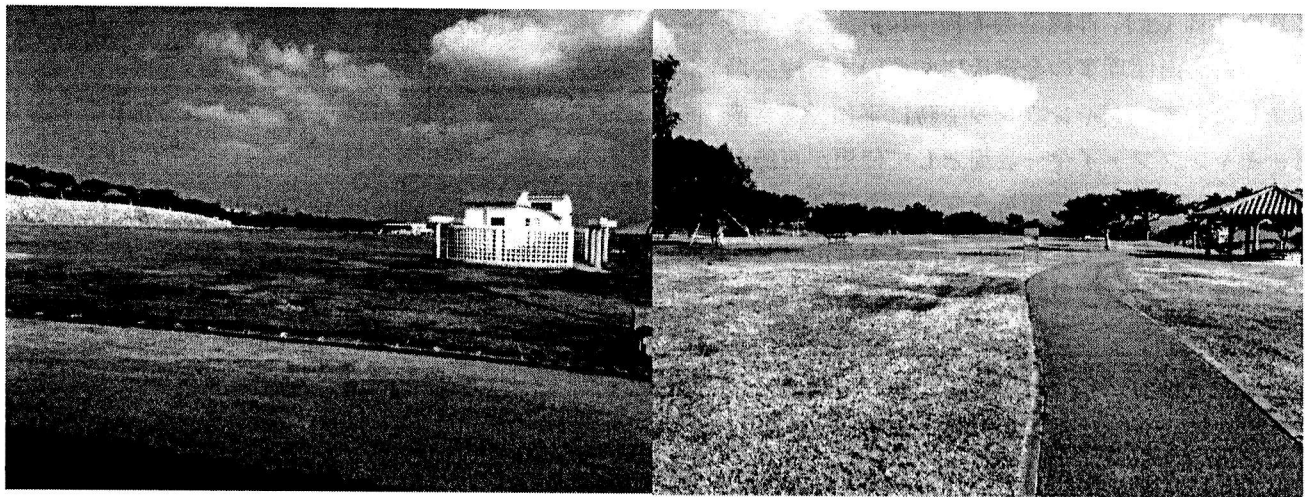
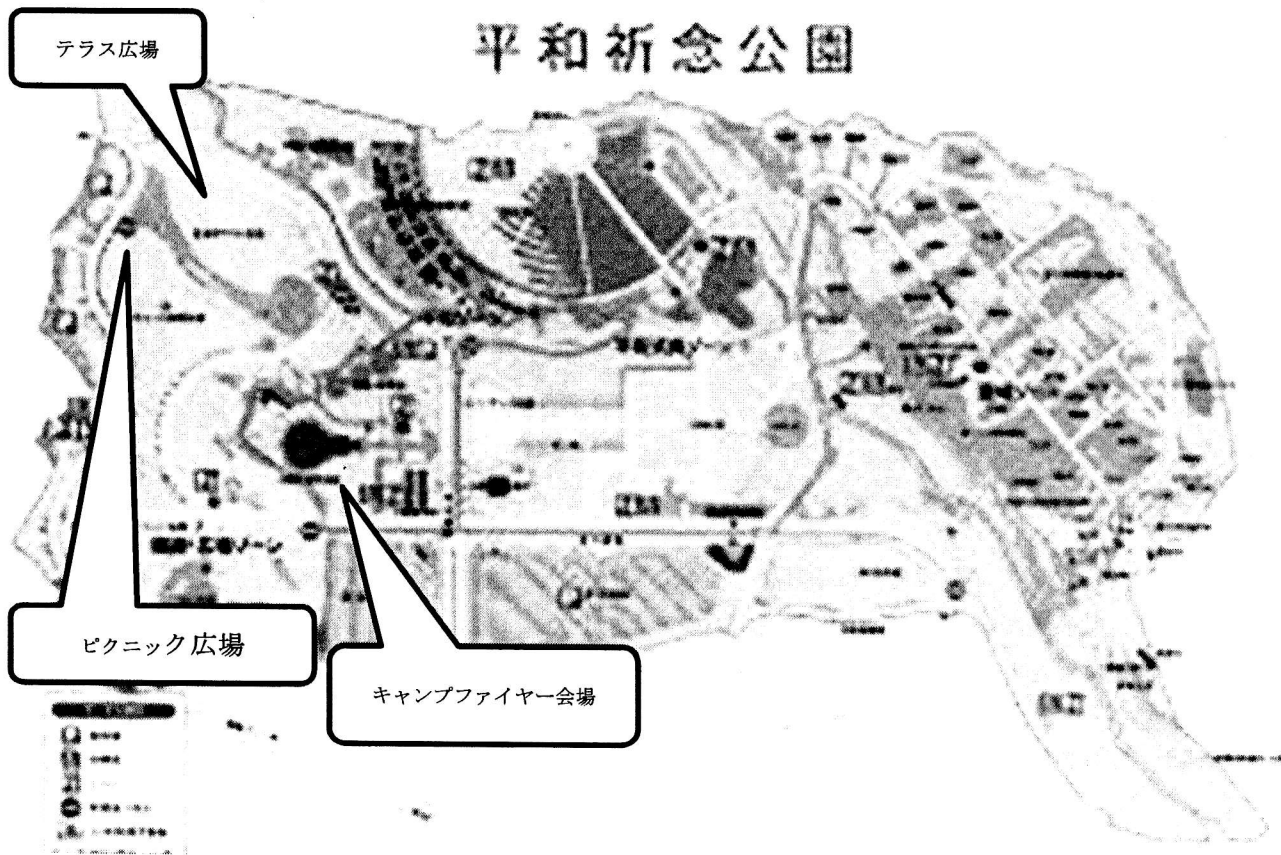


第25回日米友愛ジャンボレットとして沖縄県平和祈念公園を使用するにあたっての交渉報告

12月12日(木)、沖縄県平和祈念財団に上原事務局長を訪ね、沖縄県平和祈念公園を第25回日米ジャンボレット会場として使用できる可能性について話し合っていましたので以下に報告いたします。

ジャンボレット会場として使用することについては、事務局長としては基本的にOKで、同席した担当者の久保田氏にできる方向で検討するよう指示していました。

なお、候補会場としては、キャンプサイトとして「ピクニック林間広場」、合同プログラムとして「テラス広場」、キャンプファイヤー会場として「平和祈念堂横広場」です。



テラス広場

ピクニック林間広場

当日の話し合いでは、下記事項が条件になるであろうとのことでした。

①来年は終戦 75 周年になるので、タイトルに「終戦 75 周年平和祈念」を入れること。

②開会式で黙とうを入れること。

③平和に関するプログラムを入れること。

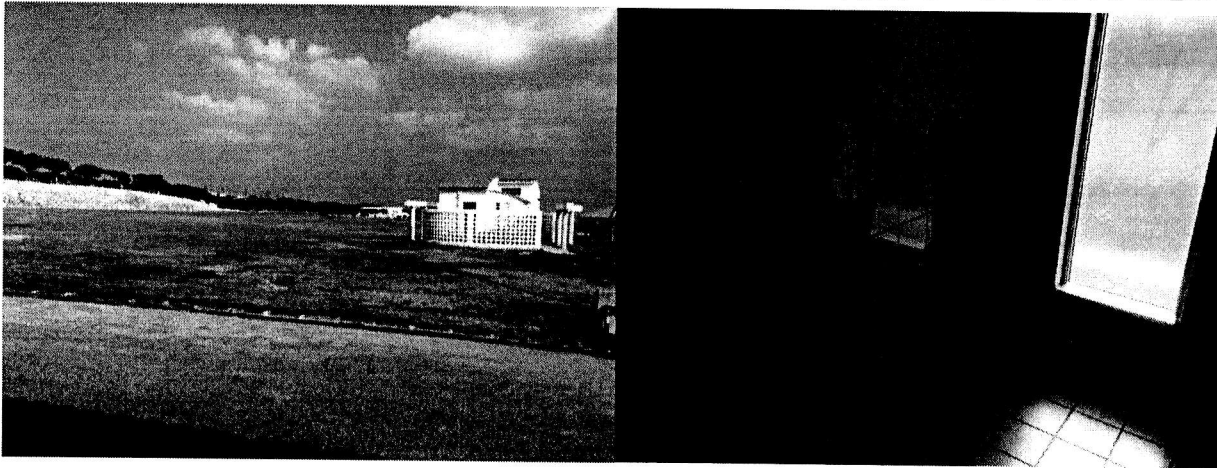
そうすれば、財団が後援となり会場使用料免除ができるそうです。

問題点は、火の取り扱いですが、炊事用の火気については、テーブルの上でのガスコンロ使用であれば問題ないであろうとのことでした。

トイレ及び水道について

下の写真の様にテラス広場、ピクニック林間広場共にトイレがあり問題なさそうです。

なお、水道については、右下の写真のように手洗場か、清掃用水栓を使用することになるかと思われます。



キャンプファイヤーについては、大晦日に平和祈念堂横広場で「火と鐘のまつり」で使用している場所ならば、「火と鐘のまつり」で実績があるので可能性が高いとのことでした。

しかし、その場合には管理の沖縄協会の許可が必要であろうとのことでした。

いずれにせよ、頭からできないということではなく、できる方法を考えましょうというスタンスでした。

詳細については、後日説明しますが、取り急ぎの報告とします。

キャンプファイヤー会場について

12月14日(土)、沖縄協会沖縄平和祈念堂元所長で現平和祈念財団理事の金嶺氏にお会いする機会がありましたので、ジャンボレット時に平和祈念堂横広場をキャンプファイヤー会場として使用が可能かどうか尋ねたところ、平和祈念堂所長を紹介しようということになり、管理事務所に行きました。

事務所では、新垣昌頼専務理事と、座安毅所長にお会いしました。

専務理事、所長共に「火と鐘のまつり」でボーイスカウトに大変お世話になっていると認識しており、ボーイスカウトのお願いとあれば、協力したいと前向きな感触を得ました。

そんなわけで、キャンプファイヤー実施会場もクリアできそうです。

以上、簡単ですが報告とします。

